

特定非営利活動法人 日本ビオトープ協会
役員と顧問のご紹介

2023.8.1現在

理事及び監事、担当職務

| 役職 | 担当職務 | 氏名 | 県名 | 所属 |
|----|------------------------|--------|-----|------------------|
| 理事 | 会長(新)、北陸・信越地区委員長(前副会長) | 久郷 慎治 | 富山 | (株)久郷一樹園 |
| 理事 | 副会長 | 鈴木 元弘 | 愛知 | (株)鈴鍵 |
| 理事 | 副会長(新)、北海道・東北地区委員長 | 佐竹 一秀 | 宮城 | (株)エコリス |
| 理事 | 副会長(新)、情報副委員長、関東地区委員長 | 砂押 一成 | 茨城 | (株)砂押園芸 |
| 理事 | 副会長(新)、静岡地区委員長 | 藤浪 義之 | 静岡 | (株)藤浪造園 |
| 理事 | 相談役、近畿地区委員長 | 西川 勝 | 滋賀 | 近江花勝造園(株) |
| 理事 | 相談役(前会長) | 櫻井 淳 | 静岡 | (株)静岡グリーンサービス |
| 理事 | 相談役、顕彰事務局長(前副会長) | 野澤 日出夫 | 岩手 | (公財)小岩井農場財団 |
| 理事 | 総務委員長、中・四国地区委員長 | 梶岡 幹生 | 広島 | (株)カジオカL.A |
| 理事 | 総務副委員長 | 藤井 信良 | 神奈川 | 河津造園土木(株) |
| 理事 | 情報委員長 | 若月 学 | 新潟 | 若月建設(株) |
| 理事 | 技術委員長 | 直木 哲 | 千葉 | 直木技術事務所 |
| 理事 | 技術副委員長 | 西川 博章 | 滋賀 | (株)ラーゴ、近江花勝造園(株) |
| 理事 | 中部地区委員長 | 青山 正尚 | 愛知 | 太啓建設(株) |
| 理事 | 九州地区委員長 | 田中 和紀 | 宮崎 | 内山緑地建設(株)宮崎営業所 |
| 理事 | 研修委員長 | 日高 庸次 | 愛知 | (株)鈴鍵 |
| 監事 | | 佐川 憲一 | 福島 | プランリーフ |
| 監事 | | 大場 淳一 | 東京 | (株)大場造園 |

役員紹介WEBページ <https://www.biotope.gr.jp/intro/nagement/>

顧問の先生

| | 氏名(敬称略) | |
|------|------------|---|
| 代表顧問 | 鈴木 邦雄 | 横浜国立大学名誉教授・元学長、IGES国際生態学センター長 |
| 顧問 | 岩村 和夫 | 東京都市大学名誉教授、(株)岩村アトリエ代表取締役 |
| 顧問 | 大熊 孝 | 新潟大学名誉教授 |
| 顧問 | 竺 文彦 | 龍谷大学名誉教授 |
| 顧問 | 進士 五十八 | 福井県政策参与・里山里海湖研究所長、 東京農業大学名誉教授・元学長、福井県立大学名誉教授・前学長 |
| 顧問 | 中川 昭一郎 | 日本農業工学会フェロー |
| 顧問 | 平塚 明 | 岩手県立大学名誉教授 |
| 顧問 | 立川 周二 | 元 東京農業大学農学部助教授 |
| 顧問 | 平吹 喜彦 | 東北学院大学地域総合学部教授、自然環境復元学会会長 |
| 特任顧問 | 後藤 恵之輔(九州) | 長崎大学名誉教授 |
| 特任顧問 | 山田 辰美(静岡) | 常葉大学名誉教授、NPO法人ふじ環境研究所理事長 |

顧問の先生の紹介WEBページ <https://www.biotope.gr.jp/intro/kommon/>

ビオトープのいきものたち —その36— 覚えておきたいビオトープのトンボ・基本15種



さとやま自然史研究会
会長 神垣 健司

水辺を配置して整備したビオトープの生態系では、トンボが重要な生き物のひとつになります。トンボは観察が容易であることに加え、人気の高い昆虫です。また同定も比較的容易なので、本報に紹介した15の基本種を覚えておけば、ビオトープでの自然観察がいっそう楽しくなります。トンボは生息環境によって、流水域と止水域の2つに大きく分けられます。ビオトープの水辺は基本的に止水域がほとんどなので、今回紹介する基本15種は止水域が主な生息環境になっているトンボを中心に選びました。

・ハグロトンボ

本州・四国・九州に分布し、平地から丘陵地の水生植物が繁茂する小川や用水路に生息します。成虫は6月中旬頃から発生します。8月頃に盛期を迎えて、9月中旬頃に姿を消します。

・モノサシトンボ

北海道・本州・四国・九州に分布し、平地から丘陵地の樹林に囲まれた池沼や流れの緩やかな河川に生息します。成虫は5月中旬頃から発生して、9月下旬頃に姿を消します。

・キイトンボ

本州・四国・九州に分布し、抽水植物が繁茂する池沼や湿地、湿地状になった放置水田などに生息します。成虫は5月下旬頃から姿を見せ、10月上旬頃に姿を消します。

・クロイトンボ

北海道・本州・四国・九州に分布し、周囲に樹林がある池沼や緩やかな流れで、水生植物が繁茂する環境を好む傾向があります。成虫は5月初旬に発生し、9月下旬頃まで姿を見せます。

・ギンヤンマ

北海道・本州・四国・九州・南西諸島に分布し、平地から丘陵地の開放的な池沼や河川のワンド、人工的な水場などに生息します。本州の成虫は5月下旬頃から発生し、11月頃まで姿を見せます。

・台湾ウチワヤンマ

本州、四国、九州に分布し、現在も分布域が北上中です。平地から丘陵地の水生植物が繁茂した開放的な池沼に生息します。成虫は5月に発生し、10月頃まで姿を見せます。



ハグロトンボ



モノサシトンボ



キイトンボ



クロイトンボ



ギンヤンマ



台湾ウチワヤンマ

・**チョウトンボ**

トンボの中では珍しい翅の美しい種です。本州・四国・九州に分布し、平地から丘陵地の水生植物が繁茂した開放的な池沼に生息します。成虫は6月頃から発生し、9月頃まで姿を見せます。

・**ナツアカネ**

北海道・本州・四国・九州に分布し、平地から山地の池沼や湿地、水田などに生息します。成虫は6月頃に発生してしばらくは暗い森などで過ごし、秋になると水辺に戻って11月頃に姿を消します。

・**アキアカネ**

北海道・本州・四国・九州に分布し、平地から山地の水田や池沼などに生息します。成虫は6月頃に発生して夏季は涼しい高山に移動して過ごし、秋になると里に下りてきて晩秋まで姿を見せます。

・**リリアカネ**

北海道・本州・四国・九州に分布し、平地から山地の樹林に囲まれた池沼などに生息します。成虫は6月頃に発生してしばらくは暗い森などで過ごし、秋には水辺に戻って11月頃に姿を消します。

・**マユタテアカネ**

北海道・本州・四国・九州に分布し、平地から山地の樹林に囲まれた池沼などに生息します。成虫は6月頃に発生してしばらくは暗い森などで過ごし、初秋には水辺に戻って11月頃に姿を消します。

・**ショウジョウトンボ**

北海道南部・本州・四国・九州・南西諸島に分布し、平地から丘陵地の水生植物が繁茂した開放的な池沼に生息します。本州の成虫は6月頃に発生して、10月頃に姿を消します。

・**シオカラトンボ**

北海道・本州・四国・九州・南西諸島に分布し、平野から山地の池沼や湿地、水田などに生息します。本州の成虫は5月頃に発生して、10月頃に姿を消します。

・**オオシオカラトンボ**

北海道・本州・四国・九州・南西諸島に分布し、平地から山地の樹林に囲まれた池沼などに生息します。本州の成虫は6月頃に発生し、10月頃に姿を消します。

・**ウスバキトンボ**

国内全域に広く分布し、平地から山地の水田や開放的な湿地などに生息します。春から秋にかけて個体数を増やし、分布域を北に広げていきます。冬になるとほとんどの地域で死滅しますが、春には南で発生した個体が北上を始めます。



チョウトンボ



ナツアカネ



アキアカネ



リリアカネ



マユタテアカネ



ショウジョウトンボ



シオカラトンボ



オオシオカラトンボ



ウスバキトンボ

キツツキの世界 その4 巣作り

巣作りは毎年新しく作る種類と数年同じ巣を使う種類、自分では作らず、他のキツツキの使った古巣を利用する種類があります。

ヤマゲラの巣作り

ヤマゲラは毎年新しく、割と高い位置に作ります。最初は雄が作り始め、途中から雌も手伝います。



幌加内ビオトープ研究会代表
日本ビオトープ協会個人会員
内海 千樫



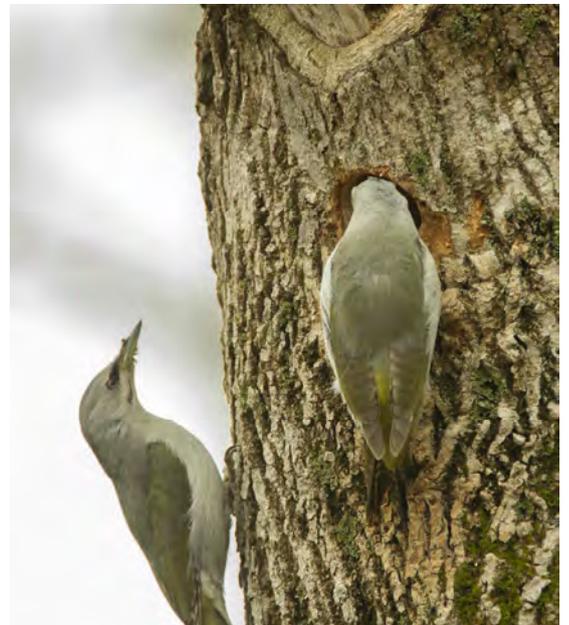
幌加内ビオトープで巣作りを始めました。



雌も巣作りに加わりました。



まだ作り始めて2〜3日のようです。頭がすっぽり入るくらいです。



雄の巣穴掘りに、雌が交代にやって来ました。

その後最盛期5月12日、13日には、早朝から夕方まで休むことなくどちらかが作業を続けて、ほぼ90%ほど完成したと思われた5月15日、突然巣作りを止めてしまいました。

未だ原因が分かりません。

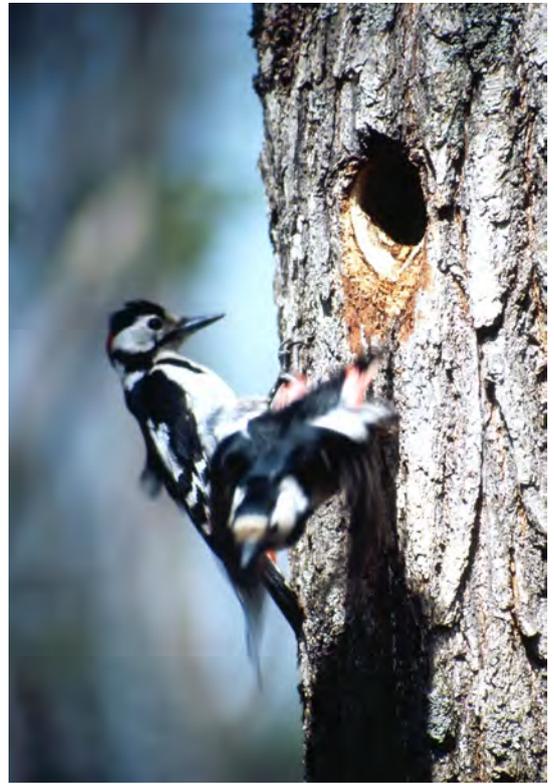
キツツキは巣作りを始めても完成に至らない事がしばしば見られます。

キツキは全て樹洞で営巣します。アリスイは他のキツツキの古巣を利用しますが、他のキツツキは自分で木に穴を掘り、中で産卵、育雛をします。

アカゲラの巣作り



ミズナラの幹にアカゲラの雄が巣穴を彫り始めました。



雌雄交代で1日数時間掘り進めます。



コンコンとつついては木屑を捨てます。



中でUターンできるほど掘り進みました。



2日後雌も手伝いにやって来ました。大分深くなりました。



乱れた羽を繕っています。

(次号・その5に続きます)